

目次

<デザイン芸術学科>

●ユニバーサルデザインについて	P.1
●人物クロッキー -フォルムや動きをすばやくとらえよう-	P.1
●「アニマルモチーフによるマグネットクリップの制作」 -簡易な素材を使って立体造形を楽しむ-	P.1
●ガラス造形研究 -ものづくり-	P.1
●土によるものづくり	P.1

<メディア映像学科>

●アプリ開発と問題解決のためのアプリの活用事例 -自分のアイデアをアプリで表現してみませんか?-	P.2
●太陽の色は何色か? -なぜゴッホは黄色にこだわったか-	P.2
●ミライのANIME -アニメーション表現の最先端-	P.2
●感動をデザインする -魅力ある地域づくり拠点づくり-	P.2
●映像プロデュース -プランニング・プロデュース・プレゼンから始まる-	P.2
●映像の効果と技法 -モニタージュ 映像は、「真実」?「つくりもの」?-	P.3
●コミュニケーションカってなに? -会話のルール、コンテキストと意味-	P.3

<生命科学科>

●くらしの知恵と酸・塩基	P.4
●体の中の糖 -細胞と糖-	P.4
●くらしと紫外線	P.4
●バラの香りがレモンに変わる	P.4
●自然現象の進む方向	P.4
●魔法の砂-ケイ素(シリコン) -岩石から機能材料へ-	P.5
●植物が香りを作る妙	P.5
●暮らしの中のバイオテクノロジー	P.5
●睡眠呼吸障害の検査と治療について -睡眠状態の判別と治療をどうするか-	P.5
●在宅人工呼吸器の点検と実際 -24時間人工呼吸が必要となった患者様の在宅での管理方法について-	P.5
●腎臓の役割と人工透析	P.6
●食品備蓄について	P.6
●水生動物学	P.6

<生命医科学科>

●甲状腺・唾液腺の細胞診 -体腔液の細胞診-	P.7
●臨床検査技師の業務拡大 -鼻腔・咽頭拭い検査や味覚検査について-	P.7
●泌尿器細領域の胞診 -尿細胞診の実際-	P.7

<動物生命科学科>

●動物園の歴史と役割	P.8
●動物は何を考えているのか	P.8
●動物が人にもたらす効果 -アニマルセラピーの実践とその理論-	P.8
●中国語と日本語	P.8
●犬猫とより安心して暮らすために -人獣共通感染症について-	P.8

<動物生命科学科つづき>

●動物に使われる薬	P.9
●幹細胞を用いた糖尿病治療	P.9
●犬や猫への適切なアプローチの方法と抱き上げ方	P.9
●幹細胞を用いた再生医療 -獣医療における脊髄再生-	P.9
●卵子を体外で育てるためには	P.9

<健康科学科>

●日本が熱帯だった頃 -化石と地層から読み解く1600万年前の日本の姿-	P.10
●河川水、地下水、水道水の水質評価 -水質測定をしてみよう-	P.10
●植物の種にみる生存戦略	P.10
●自然に治る筋肉の仕組み	P.10
●運動は風邪を予防できるか?	P.10
●「速く走るには?」「高く跳ぶには?」を考えるスポーツバイオメカニクス	P.11
●「速い球を投げるには?」「切れのあるカーブを投げるには?」を考えるスポーツバイオメカニクス	P.11
●ダイエットと筋カトレニングの科学	P.11

<危機管理学科>

●大学での学修について	P.12
●危機とは何か、危機管理とは何か	P.12
●自然災害とその防災・減災について -災害危機管理について考える-	P.12
●粘土の話	P.12
●金融リスクを考える	P.12
●おとり効果について -販売戦略-	P.13
●リスクを知り、マネジメントする -企業経営におけるリスク管理-	P.13
●リスクとのコミュニケーション	P.13
●技術革新と日本の将来 -将来、社会人になるには何をすれば良いのか-	P.13
●確率分布と起こりやすさ起こりにくさ	P.13
●検索エンジンの豆知識	P.14
●コンピュータとインターネットのしくみを知る	P.14
●経済学を学ぼう	P.14
●ヒット商品から学ぶ経営学	P.14
●ネットサービス利用における消費者のリスク	P.14
●観光と危機管理 -被災地の取り組みを事例として-	P.15
●地域を支える地方銀行の役割	P.15

<経営情報学科>

●コミュニケーション実践入門	P.16
●生涯学習時代における公共図書館の役割と課題	P.16
●正しく考える	P.16
●ユダヤ系アメリカ文学とは	P.16
●学生時代の過ごし方とキャリア形成	P.16

<デザイン芸術学科>

講義 番号	タイトル	ユニバーサルデザインについて	【講義】
1	内容	「ユニバーサルデザイン」これは、製品、建物、サービスなどを年齢、性別、障害の有無、国籍など個人の能力や特徴にかかわらず、できる限り幅広い人々にとって利用しやすいデザインで、日常生活の様々な場面で私たちを支えています。ユニバーサルデザインが目指すのは、製品、建物、サービスなどから誰もが排除されず公平に満足を得られるようにすることです。講義では、その成り立ちや考え方、事例などを紹介しながら、ユニバーサルデザインをわかりやすく解説します。	
	担当講師	柳田 宏治 教授	
	専門分野	プロダクトデザイン、ユニバーサルデザイン、UXデザイン	
講義 番号	タイトル	人物クロッキー –フォルムや動きをすばやくとらえよう–	【実習】
2	内容	大学で絵画基礎の授業において取り入れている対象のプロポーションや動きをすばやく掴み表現する人物クロッキーを体験する。最初に著名な画家や彫刻家のクロッキーや学生作品を紹介。その後5分ポーズや3分ポーズを数回体験する。スケッチ、デッサンなどさまざまな描画方法があるが、クロッキーはシンプルな線を用いて限られた時間で描くことで、余計な情報(細かい描写や装飾)をそぎ落とし、ものそのものを構成している重要な形を抽出し、一瞬のムーブメントを捉えることができる。対象を掴み取る眼が鍛えられるとともに、同じ時間で出来ることの幅が広がり、描写力の向上が期待できる。	
	担当講師	近藤 千晶 教授	
	専門分野	絵画	
講義 番号	タイトル	「アニマルモチーフによるマグネットクリップの制作」 –簡易な素材を使って立体造形を楽しむ–	【実習】
3	内容	市販の家具修正用パテや石粉粘土を使って、オリジナルな立体作品をつくります。小動物・ペット動物等をモチーフにすることや、磁石を埋め込んだマグネットクリップ等、身近において使用できるものづくりを目的にすることで、より愛着ある、各々のこだわりを反映した作品づくりを目指します。	
	担当講師	田丸 稔 教授	
	専門分野	彫刻	
講義 番号	タイトル	ガラス造形研究 –ものづくり–	【実習】
4	内容	ガラスの歴史はそれほど長くない。しかし現代ガラス分野は様々な作家が様々な感性豊かな作品を出している。この講義では、現代ガラス作品の紹介や造りから産まれる思考の方面を考えます。また、ガラスのコップにサンドブラストという技法を使って絵柄を入れる制作をおこないます。	
	担当講師	張 慶南 准教授	
	専門分野	ガラス工芸	
講義 番号	タイトル	土によるものづくり	【実習】
5	内容	土(粘土質の陶土)を素材とした作品の形成。粘土は可塑性といわれる造形に適した状態において様々な形成が可能です。その粘土を使用して実用可能な器や立体造形などのオブジェを制作します。制作において最初の作品のデザインや構想は作品の完成度を左右するのでしっかり吟味し、内容と制作時間も含めた検討の上で制作に入ります。大学での焼成が必要なため大学からの移動距離や受講の人数など諸条件によってできる内容に変化が生じます。	
	担当講師	井上 昌崇 講師	
	専門分野	陶芸	

<メディア映像学科>

講義 番号	タイトル	アプリ開発と問題解決のためのアプリの活用事例 -自分のアイデアをアプリで表現してみませんか?-	【講義】
6	内容	私たちが暮らす今日の情報社会では、いまや日々の暮らしのさまざまな場面でアプリが使われています。アプリとは個人のアイデアを表現できる手段でもあり、アプリを切り口として地域の課題解決やこれまでになかった付加価値を持つ新しい情報サービスが生まれています。この講義ではアプリ開発手法の基本的な紹介と、地域の課題解決などにアプリを役立てようとする社会の動きなどについて紹介します。	
	担当講師	馬場 始三 教授	
	専門分野	情報工学	

講義 番号	タイトル	太陽の色は何色か? -なぜゴッホは黄色にこだわったか-	【講義】
7	内容	太陽の色は何色か。それは描かれた絵画を見ればわかる。古代エジプトでは赤だったが、ルネサンスでは白色で描いている。ゴッホは黄、高村光太郎は緑色の太陽と言った。岡本太郎にとっては黒い太陽だった。太陽が光のことだとすれば、ヨーロッパ中世はそれを金に置き換えた。日本美はその対極として、銀を月に見立てている。この講義では、太陽の色の表現について解説をおこないます。	
	担当講師	神原 正明 教授	
	専門分野	芸術系美術史	

講義 番号	タイトル	ミライのANIME -アニメーション表現の最先端-	【講義】
8	内容	約100年前に誕生した日本のアニメーションはさまざまなテクノロジーと表現技法を積極的に取り込み「ANIME」と称されるスタイルを獲得しましたが、現在、アニメ業界の人材不足、過酷な労働条件下、大きな変革が望まれています。そうした中、新しいテクノロジーを取り込むことで現場ではどんな表現が出現しているのか? エッジな表現を実現した多くの作品を紹介しながら、ミライのANIME像について考えます。	
	担当講師	中川 浩一 教授	
	専門分野	アニメーション	

講義 番号	タイトル	感動をデザインする -魅力ある地域づくり拠点づくり-	【講義】
9	内容	21世紀に入り、時代は技術主導のシステム重視から変化しつつあります。現在の潮流は、創造力あふれる人の感性や専門知識、情報を活かし、地域が持つ技術や文化、ブランド資源に対し革新をどう進めていくかが重要です。この講義では、イノベーションを生む地域創造の場づくりやイノベーションを実現させるためのデザインの方法についてご紹介します。	
	担当講師	近藤 研二 教授	
	専門分野	インタラクションデザイン	

講義 番号	タイトル	映像プロデュース -プランニング・プロデュース・プレゼンから始まる-	【講義】
10	内容	映画120年・テレビ70年以上が過ぎ、当時の画期的な技術革新とともに進化しました。基本は、プランニングから始まり、実現にはプロデュース・プレゼンテーションが必須です。マーケティングでは効果をデータ化できますが、判断するのは人間です。実際の映画・TVCMの成功例や失敗例ムービーを参考に講義します。	
	担当講師	小出 肇 教授	
	専門分野	映像	

<メディア映像学科>

講義 番号	タイトル	映像の効果と技法 -モンタージュ映像は、「真実」?「つくりもの」?-	【講義】
11	内容	<p>モンタージュとは複数の映像の断片をつなげて、ひとつの連続した映像を作る技法。日本語では編集と訳されます。</p> <p>モンタージュは複数の映像をつなげることによって、編集された映像は新しい意味や効果を生み出します。この講義では映像の編集実験を交えてその検証を行います。</p> <p>また、映像や音声の組み合わせによって、どのように映像の雰囲気が変わって行くのかを、実験映像を使って説明します。</p>	
	担当講師	丸田 昌宏 教授	
	専門分野	映像	
講義 番号	タイトル	コミュニケーションカッてなに? -会話のルール、コンテキストと意味-	【講義】
12	内容	<p>文を作るルール(文法)があるように、私達は話す時、会話のルールを利用しています。</p> <p>また同じ文でも、時によって違う意味になることがあります。</p> <p>この講義では、身近な会話のやりとりを取り上げ、会話のルールについて説明します。</p> <p>さらに、会話をとりまく要素と意味の関係を考えます。</p>	
	担当講師	水田 直美 准教授	
	専門分野	言語学、応用言語学、社会言語学、言語コミュニケーション	

<生命科学科>

講義番号	タイトル	くらしの知恵と酸・塩基	【講義】
13	内容	昔から生活の知恵、おばあさんの知恵として伝えられてきた知恵の中には、化学的に非常に合理的なものが含まれています。アク抜きと言われるものもそのひとつです。化学の基本である中和反応を頭に浮かべて暮らしの知恵を紹介します。	
	担当講師	奥本 寛 教授	
	専門分野	化学	

講義番号	タイトル	体の中の糖 -細胞と糖-	【講義】
14	内容	インフルエンザの流行にあわせて型が記されます。同じような型があるものとして血液がありますが、性格と合わせて占いをしたり、行動を判断されたりします。このような型は、糖によって決まります。化学的にはお砂糖の親戚です。他にも植物によっていろいろな糖がそれぞれの意味をもっていますが、人間に働く作用によって人間は使い分け、利用しています。いろいろな糖の紹介をします。	
	担当講師	奥本 寛 教授	
	専門分野	化学	

講義番号	タイトル	くらしと紫外線	【講義】
15	内容	紫外線は肌に悪いだけではありません。身の回りの有機物すべてに大きな影響を与えています。皮膚に紫外線があたると赤く腫れ、剥がれるように、プラスチックや塗料が日に曝されるとどんどん劣化し、ボロボロになります。肌にはシミ・ソバカスができ、ガングロになりますが、印刷物は色あせていきます。そうならないために、肌にはUVカットを塗りますが、材料には紫外線吸収剤を加えます。化学が導いたいろいろな仕組みをお話します。	
	担当講師	奥本 寛 教授	
	専門分野	化学	

講義番号	タイトル	バラの香りがレモンに変わる	【実験】
16	内容	簡単な化学実験を使って、あの「バラの香り」を、あの「レモンの香り」に変えてみよう！	
	担当講師	佐藤 恒夫 教授	
	専門分野	化学	

講義番号	タイトル	自然現象の進む方向	【講義】
17	内容	自然現象が進行する方向について、身近な自然現象を例にとりながら説明していきます。特に化学の分野で起こる物質の蒸発や凝固などの状態変化や、化学反応などについて、何故そのような現象が生じるのかを考察する際の基本的な考え方を一緒に身につけてみよう。	
	担当講師	宮野 善盛 教授	
	専門分野	化学	

<生命科学科>

講義 番号	タイトル	魔法の砂-ケイ素(シリコン) -岩石から機能材料へ-	【講義】
18	内容	現在、ケイ素(シリコン)は、太陽光発電以外でも、身の回りで数多く使用されています。ケイ素という元素が岩石という形で地球上に無尽蔵に存在していることや、現在の社会においてかかせない元素であることを説明します。また、ケイ素化学の最新の研究と応用についても紹介します。実際の例として、いろいろなもののレプリカ作製に使われる「型取りシリコン」や衝撃吸収材である「アルファゲル」の体験をしてもらうことも可能です。	
	担当講師	仲 章伸 教授	
	専門分野	化学	
講義 番号	タイトル	植物が香りを作る妙	【講義・実習】
19	内容	植物が作る香りにはどのような意味があるのでしょうか。植物は厳しい環境や生存競争に打ち勝つために様々な香りを作り、利用しています。一方、人間は植物の作る香りを様々な生活のシーンに活用しています。ヒトに対しての効果効能を持つ香りも多く、人々のQOLの向上に寄与しています。香りの不思議や可能性を解説します。簡単な香りの機能の実験(抗酸化等)や練香水等の試作品作りを体験してもらうことも可能です。	
	担当講師	岡 憲明 教授	
	専門分野	生物学	
講義 番号	タイトル	暮らしの中のバイオテクノロジー	【講義】
20	内容	バイオテクノロジーというと難しいと思いがちですが、われわれの暮らしの中の様々な製品にはバイオテクノロジーの技術が活かされています。農業、工業、医療など様々な産業でのバイオテクノロジー技術をわかりやすく解説します。	
	担当講師	岡 憲明 教授	
	専門分野	生物学	
講義 番号	タイトル	睡眠呼吸障害の検査と治療について -睡眠状態の判別と治療をどうするか-	【講義】
21	内容	睡眠時の無呼吸やいびきが社会的には眠気による仕事不振や交通事故、ベッドパートナーへの騒音などが問題となっています。また、無呼吸による低酸素状態での余病併発が生命への危険へとつながっていきます。簡易検査での見つけ出し方と睡眠状態の把握、さらには治療方法と継続についての講義を行います。	
	担当講師	山崎 功晴 准教授	
	専門分野	医療技術	
講義 番号	タイトル	在宅人工呼吸器の点検と実際 -24時間人工呼吸が必要となった患者様の在宅での管理方法について-	【講義】
22	内容	人工呼吸器を手放せなくなった患者様のQOLを上げるため、在宅人工呼吸療法が導入されます。この講義では技術的 point 点検手順による在宅管理での安全性向上を図り、患者及び患者家族と医療従事者の事故防止を目的におこないます。	
	担当講師	山崎 功晴 准教授	
	専門分野	医療技術	

<生命科学科>

講義 番号	タイトル	腎臓の役割と人工透析	【講義】
23	内容	「肝腎(心)」という言葉は“特に重要なこと”という意味で使われています。この言葉の語源は、肝臓と腎臓や心臓は、人体にとってとても重要な臓器であるところから来ており、この言葉が誕生した当時は「肝腎」と書くのが正しい漢字表記でした。腎臓は体の中でさまざまな役割を演じています。腎臓の役割と、腎臓が機能しなくなった時の治療方法について分かりやすく解説します。	
	担当講師	檜村 友隆 准教授	
	専門分野	医学	

講義 番号	タイトル	食品備蓄について	【実習】
24	内容	日々あたりまえのように食べている食品について考えたことはありますか？食品の働きとはなんでしょう？食品の機能性について説明するとともに、災害時の食事についてグループ調理を通して一緒に考えてみます。	
	担当講師	大杉 忠則 准教授	
	専門分野	食品、栄養	

講義 番号	タイトル	水生動物学	【講義】
25	内容	水圏には膨大な種類の生物が分布・生息しています。水生動物は生息環境に応じて多様に形態分化するとともに、特異な生活様式を獲得して水中での生活に適応しています。本講義では水生動物の生活環境や分類体系について概説するとともに、魚類を中心とした各分類群の特徴について詳述します。	
	担当講師	山野 ひとみ 准教授	
	専門分野	魚類学	

<生命医科学科>

講義 番号	タイトル	甲状腺・唾液腺の細胞診 - 体腔液の細胞診-	【講義・実習】
26	内容	細胞検査士試験に必要な甲状腺・唾液腺・体腔液部門の細胞診の講義と実習を行います。	
	担当講師	三宅 康之 教授	
	専門分野	医療資格	
講義 番号	タイトル	臨床検査技師の業務拡大 - 鼻腔・咽頭拭い検査や味覚検査について-	【講義】
27	内容	臨床検査技師等に関する法律の一部が、2015年4月に改正されました。検査技師による検体採取が可能となりました。安全な採取と患者の協力を得る為のポイントについて、下記につき、解説します。 1: 医療事故を防ぐため、安全性の高い部位・方法によって採取する。 2: 採取時に検査の目的と採取方法を十分に説明し、理解を仰ぐ。 (小児からの採取の場合は、介助者による部位の固定を確実にを行う)	
	担当講師	泉 礼司 教授	
	専門分野	医療資格	
講義 番号	タイトル	泌尿器細領域の胞診 -尿細胞診の実際-	【講義・実習】
28	内容	尿細胞診診断に必要な泌尿器領域の病理学的知識と細胞診断学的知識を講義し、尿細胞診に出現する良性・悪性の細胞を鏡検し実習します。	
	担当講師	佐藤 正和 教授	
	専門分野	医療資格	

<動物生命科学科>

講義 番号	タイトル	動物園の歴史と役割	【講義】
29	内容	世界の動物園のホームページを覗いてみると、動物園の役割として「教育」「研究」「保護・保全」などが書かれています。一般には単なるレクリエーション施設のように考えられている動物園ですが、実は様々な役割が動物園に求められています。この講義では、動物園の果たすべき役割についてお話します。また、動物園の歴史についても説明するとともに、世界のいくつかの動物園・水族館の紹介をします。	
	担当講師	梶浦 文夫 教授	
	専門分野	動物生命科学	
講義 番号	タイトル	動物は何を考えているのか	【講義】
30	内容	動物のところが知りたい。動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると思うのは当然ですが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味や成立のメカニズムを知る必要があります。この講義では、擬人的にではなく、客観的に動物の行動を理解できるようになることを目指します。併せて、われわれが動物とかかわっていく上で考慮すべき事柄、動物とのかかわりの中で得られるさまざまな効果について考えていきます。	
	担当講師	唐川 千秋 教授	
	専門分野	心理学	
講義 番号	タイトル	動物が人にもたらす効果 -アニマルセラピーの実践とその理論-	【講義】
31	内容	動物は「癒し」の力を持っていると感じている人はたくさんいます。この講義では、「癒し」とはどのようなことなのか、なぜ高齢者施設や知的障害者施設で犬たちが奇跡と呼べるような出来事をもたらすのか、実践事例を通して勉強していきます。動物の専門家になる道は獣医だけではありません。専門家と連携することで、動物の専門知識を活かしていく道もあります。動物と一緒に社会で活躍していくのに役立つ基礎的な理論を写真を使って解説していきます。	
	担当講師	川添 敏弘 教授	
	専門分野	人間動物関係学	
講義 番号	タイトル	中国語と日本語	【講義】
32	内容	中国語の発音には日本語にないものがいくつかあるので、日本人の場合は中国語の発音をまず勉強しておくのと他の文法とかとても簡単なのです。動詞の変化もないし、時制も3つしかありません。日本人の場合は発音だけでできれば話せますし、書けます。何故なら、日本語の語彙と中国語の語彙は今も形も同じのが多いからです。	
	担当講師	趙 慧欣 教授	
	専門分野	中国語、日本語	
講義 番号	タイトル	犬猫とより安心して暮らすために -人獣共通感染症について-	【講義】
33	内容	動物や人に対し、様々な病原微生物が感染症を引き起こします。病原体が引き起こす症状の程度はいろいろなパターンがあり、動物種間において猫エイズウイルスは人や犬に病原性をしめすことはないと言われています。一方、狂犬病は犬や人にも重篤な症状を示します。本講義では、犬猫たちとより安心して暮らすためにどのようなことを踏まえるべきか、そもそも微生物ってどんなものなのか、どのような感染症があるのかをお話します。	
	担当講師	湯川 尚一郎 准教授	
	専門分野	公衆衛生学	

<動物生命科学科>

講義番号	タイトル	動物に使われる薬	【講義】
34	内容	「クスリ」の語源は、「奇(く)すしい力」であるといわれ、すなわち珍しい、神秘的な不思議な力をもつ物質ということです。薬は現在、病気の予防や治療などにおいてなくてはならないものになっており、1万種を超える膨大な数になっています。その中には動物用の薬も含まれており、イヌやネコなどの動物も人間と同じく病気になる、薬を使う機会が増えてきております。しかし、動物では、たとえばネコは人間と比べ腸が短い、などの種差があるため、使う薬の種類も使用方法も異なり、動物医療の分野ではかなり気をつけなくてはならない治療行為の1つとなっています。本講義では、動物種差をベースに薬理学的な視点から動物の薬物治療を紹介します。	
	担当講師	加計 悟 准教授	
	専門分野	獣医薬理学	

講義番号	タイトル	幹細胞を用いた糖尿病治療	【講義】
35	内容	糖尿病は人医療の領域においても完治が難しい病気のひとつです。近年獣医療域においても動物の寿命の延長や食の変化により糖尿病は大きな問題になりつつあります。この講義では幹細胞を使った再生医療の技術の紹介と異種移植による膵臓再生の試みについてお話しします。	
	担当講師	武光 浩史 准教授	
	専門分野	獣医学	

講義番号	タイトル	犬や猫への適切なアプローチの方法と抱き上げ方	【講義】
36	内容	動物は、言語的コミュニケーションの方法を持たないので、動物病院での注射や処置に伴う痛みや拘束を伴う検査や治療の必要性を理解できません。そのため、円滑な診療を行うために動物の行動を静止させて落ち着かせる保定(ほてい)が重要となります。本講義では、人と異なる行動や骨格構造に基づいた犬や猫へのやさしい近づき方や適切な抱き上げ方など、明日からの愛犬・愛猫に使用できる方法を解説します。	
	担当講師	村尾 信義 講師	
	専門分野	動物看護学	

講義番号	タイトル	幹細胞を用いた再生医療 -獣医療における脊髄再生-	【講義】
37	内容	現在までに再生医療はとてもホットな話題となっており、人医療において多くのことが期待されています。その再生医療の一つに細胞移植療法があり、それに使用される細胞に幹細胞があります。この幹細胞を使用した細胞移植療法は、獣医療でも行われています。獣医療における幹細胞を用いた再生医療に関して特に脊髄再生の話題を中心にお話しします。	
	担当講師	糸井 崇将 助教	
	専門分野	獣医学	

講義番号	タイトル	卵子を体外で育てるためには	【講義】
38	内容	雌の体内から卵子を採取し、体外で成熟・受精・発生させる技術は実験動物のマウスを始め、家畜であるウシやブタ、さらには人の不妊治療の分野で広く用いられています。しかし体外で培養した卵子の「質」は体内で发育した卵子よりも低く、改善が必要です。この講義では、卵子の体外培養技術の改善のために行われているマウス用いた基礎的研究、およびそれらの応用学的展開を紹介します。	
	担当講師	岡本 麻子 助教	
	専門分野	生殖生理学	

<健康科学科>

講義 番号	タイトル	日本が熱帯だった頃 -化石と地層から読み解く1600万年前の日本の姿-	【講義】
39	内容	1600万年前の日本列島は暖かい海流の影響を受け、熱帯～亜熱帯の気候下にありました。この海洋性気候のもと、北海道にまでマングローブの森がひろがり、浅い熱帯の海にはデスモスチルスやパレオパラドキシアという謎の多い大型の海生哺乳類が跋扈していました。このような過去の地球の姿を地質学者や古生物学者は何を材料にしてどのように解明してきたのでしょうか。この講義では、化石や地層から過去の情報を読み解く手法を、1600万年前の日本列島を例に紹介します。	
	担当講師	加藤 敬史 教授	
	専門分野	地球科学	
講義 番号	タイトル	河川水、地下水、水道水の水質評価 -水質測定をしてみよう-	【実習】
40	内容	河川水、地下水、水道水の水質分析項目を説明するとともに、残留塩素濃度、pH、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素量(DO)、酸化還元電位(ORP)、硬度、窒素化合物、リン酸化合物濃度等について、測定器、パックテストを用いて水質測定を行います。そして、安全な水、おいしい水、水質汚染の程度等について、水質評価を行います。	
	担当講師	妹尾 護 教授	
	専門分野	環境科学	
講義 番号	タイトル	植物の種にみる生存戦略	【講義】
41	内容	植物は、地面に定着して生きるので、生息地域を広げるのはおもに種の時です。風に乗って飛んだり、動物にくっついたりと様々な方法で種を移動させます。植物の種にみられる巧妙なその仕組みを見ながら、植物の生存戦略について説明します。また、それらを通して植物と動物や人間との関係について考えます。	
	担当講師	内藤 整 教授	
	専門分野	作物学	
講義 番号	タイトル	自然に治る筋肉の仕組み	【講義】
42	内容	激しい運動を行うと筋肉痛が起こったり、ときには肉離れを起こすことがあります。このとき、ほとんどのひとは手術などせず、自然に治るのを待っています。このように私たちは壊れた筋肉(骨格筋)が自然に治る(修復する)ことをスポーツ活動などを通じて、経験的に実感・理解しています。この現象はどのような仕組みでなされているのかについて、細胞やタンパク質の働きを交えながら紹介します。	
	担当講師	椎葉 大輔 准教授	
	専門分野	スポーツ科学	
講義 番号	タイトル	運動は風邪を予防できるか？	【講義】
43	内容	運動が身体に良いということは、多くのメディアや雑誌で紹介されています。肥満は解消され、血圧は下がり、筋力もつきます。では運動することにより、風邪も予防することが出来るのでしょうか？出来るとすればそれはどのような運動でしょうか？これら運動と風邪の関係について、免疫の働きを交えながら紹介します。	
	担当講師	椎葉 大輔 准教授	
	専門分野	スポーツ科学	

<健康科学科>

講義 番号	タイトル	「速く走るには?」「高く跳ぶには?」を考えるスポーツバイオメカニクス	【講義】
44	内容	スポーツの動作に人間の形態的な特徴がどのように影響しているのかを、スポーツバイオメカニクスの観点から考えます。人間の四肢の形態を作り出している筋肉と腱組織の役割とその形態によって生じる力学的利点について解説します。速く走るには?高く跳ぶには?について考えてみよう。	
	担当講師	枝松 千尋 准教授	
	専門分野	スポーツ科学	
講義 番号	タイトル	「速い球を投げるには?」「切れのあるカーブを投げるには?」を考えるスポーツバイオメカニクス	【講義】
45	内容	ピッチャーはどのようにしてボールを加速させているかなどの身体の末端やラケットを加速させる仕組みと、放たれたボールが空気中でどのような力を受けて、曲がったり・ホップしたり・落ちたりするのかについて流体力学の観点から考えます。特に部活動で球技を行っている選手に、速い球を投げる(打つ)には?切れのある変化球を投げる(打つ)には?について考えてみよう。	
	担当講師	枝松 千尋 准教授	
	専門分野	スポーツ科学	
講義 番号	タイトル	ダイエットと筋カトレーニングの科学	【講義】
46	内容	ダイエットを成功させるための重要なポイントの一つである基礎代謝に関する理解を深めるとともに、基礎代謝を高めるためのエクササイズである筋カトレーニングについて最新のスポーツサイエンスの研究成果を基に解説します。	
	担当講師	枝松 千尋 准教授	
	専門分野	スポーツ科学	

<危機管理学科>

講義番号	タイトル	大学での学修について	【講義】
47	内容	高等学校での学習と大学での学修はどう違うか疑問に思われている方が多いのではないのでしょうか。大学での学修は、学部学科によって異なりますが、講義、演習、実習、ゼミナール、卒業研究と多岐にわたっています。また、文系の学部と理系の学部でも内容は異なっています。大学での学修は、講義や教科書を参考にして自ら積極的に学ぶことが求められます。もちろん、教員はその支援を惜しみません。大学での学修について高校生の皆様の疑問に答えます。	
	担当講師	坂本 尚史 教授	
	専門分野	総合	
講義番号	タイトル	危機とは何か、危機管理とは何か	【講義】
48	内容	「危機」という言葉は、東日本大震災以来様々なところで聞かれるようになりました。「危機」は様々な分野で異なった使われ方をしていますが、いずれにしても「生活の安全を脅かすもの、我々にとって不都合な出来事、起きてほしくない出来事」と言うことができます。また「危機管理」とは危機の影響を最小限に押さえ込む方策と言うこととなります。「危機」とは何か、「危機管理とは何か」について例を挙げながら解説します。	
	担当講師	坂本 尚史 教授	
	専門分野	危機管理学	
講義番号	タイトル	自然災害とその防災・減災について -災害危機管理について考える-	【講義】
49	内容	8年前の東日本大震災、昨年の豪雨災害以来、わが国では気象災害や土砂災害など各種の自然災害が多発するようになってきました。岡山県は晴れの国であり、古くから災害の少ないと言われてきましたが、これから先も災害に襲われないという保証はありません。災害から身を守る防災・減災について災害危機管理の観点から解説します。	
	担当講師	坂本 尚史 教授	
	専門分野	危機管理学	
講義番号	タイトル	粘土の話	【講義】
50	内容	粘土は地球表面に広く分布する土壌(土)の主成分で、岩石の風化作用により生成します。粘土が焼き物(陶磁器やセラミックス)の原料として古くから使われてきたことはよく知られていると思いますが、それ以外にも製紙、吸着剤、触媒など多くの化学工業で使われています。それだけでなく、意外なところでは化粧品や医薬品としても利用されています。私たちの身近な存在である粘土について、その性質と利用について解説します。	
	担当講師	坂本 尚史 教授	
	専門分野	地球科学	
講義番号	タイトル	金融リスクを考える	【講義】
51	内容	金融及びそのリスクとは何か。どうしてそのリスクが発生するのか、その理由及び要因を解説しながら、金融リスクとの正しい付き合い方について考えます。本学の危機管理学部・危機管理学科で学ぶ「金融の意味および金融リスク管理」についての説明もします。	
	担当講師	権 純珍 教授	
	専門分野	金融論	

<危機管理学科>

講義 番号	タイトル	おとり効果について -販売戦略-	【講義】
52	内容	人間は感情で左右される生き物であり、すべての行動を合理的に判断していくとは限りません。時に非合理的な行動を選択してしまうことがあります。質問の仕方やものごとの表現方法等によって、答え方や受け取り手の判断が大きく変わってきます。しかし、人間の行動にはある一定の法則が存在します。その理由等について説明し、販売や営業活動等、日常の暮らしのなかでどのように応用できるのか解説します。	
	担当講師	権 純珍 教授	
	専門分野	金融論	
講義 番号	タイトル	リスクを知り、マネジメントする -企業経営におけるリスク管理-	【講義】
53	内容	最近、新聞やテレビのニュースで「リスク」という言葉が多く出てきています。この「リスク」の言葉の意味を分かりやすく説明し、どのように対応していけば良いのかを初めての方でも理解できるようにお話しいたします。 この講義では、企業経営において起こる「リスク」のケースをあげながら、それに対して企業はどのように「マネジメント」(管理)すれば良いのかを説明いたします。	
	担当講師	土屋 博之 教授	
	専門分野	社会・安全システム科学	
講義 番号	タイトル	リスクとのコミュニケーション	【講義】
54	内容	「リスク」について、ある人が別の人にその「リスク」が“どのようなリスクなのか?”、“どの程度のリスクなのか?”、“そのリスクにどのように対応するのか?”を伝えることを、「リスクコミュニケーション」といいます。この講義では、最初に「リスク」の意味を簡単に説明し、そして「リスクコミュニケーション」は何のためにあるのか?、そして伝える(コミュニケーション)ために気をつけたい点などを「リスク」のケースをあげながら、説明いたします。	
	担当講師	土屋 博之 教授	
	専門分野	社会・安全システム科学	
講義 番号	タイトル	技術革新と日本の将来 -将来、社会人になるには何をすれば良いのか-	【講義】
55	内容	財政難、少子化、年金の枯渇、子供の学習レベルの低下、AIの進展による就職難など、今日では様々な問題が指摘されていますね。もし、そうだとすると自分達が大人になった頃には、お先真っ暗じゃないの?と思いませんか。今、自分に出来ることは何かある? また、今後、必要とされる人材とは?など、頭に汗をかいて将来予測しましょう。	
	担当講師	河野 正英 教授	
	専門分野	法学、商取引	
講義 番号	タイトル	確率分布と起こりやすさ起こりにくさ	【講義】
56	内容	確率分布とはどのようなものかを説明し、そこから起こりやすさや起こりにくさをどのように考えるかを解説する。また、それらが区間推定や検定の手法にどのように活用されるのかにも触れる。	
	担当講師	渡谷 慎吾 教授	
	専門分野	情報科学	

<危機管理学科>

講義番号	タイトル	検索エンジンの豆知識	【講義】
57	内容	普段何気なく使っている検索エンジンに基礎的な技術やGoogle社が開発したページランク検索法について説明する。	
	担当講師	プラダン スジツ 教授	
	専門分野	情報科学	

講義番号	タイトル	コンピュータとインターネットのしくみを知る	【講義】
58	内容	これからの情報化社会でコンピュータやネットワークを安全でかつ有効に活用するためには、コンピュータやネットワークの原理や仕組みを知っておく必要があります。仕組みというと難しそうに感じる人もいますが、実は日常生活に例えられることばかりです。郵便やコンビニ、人体に例えながら、目に見えないコンピュータやネットワークの仕組みをイメージしやすくなるように解説します。	
	担当講師	村山 公保 教授	
	専門分野	情報工学	

講義番号	タイトル	経済学を学ぼう	【講義】
59	内容	我々が生活を営んでいる市場経済は、無駄のない効率的な経済社会に向かう傾向があると経済学では考えられています。実際の経済では時に危機に陥ることがあります。この講義では、経済学の基本的な考え方を概説し、経済生活における身のまわりにあるリスクと危機について考えます。身の周りにどんなリスクが潜んでいるのか、どんな危機があるのか、思いを巡らせ、リスクや危機を回避する方法や陥った時の対応策を考えいきます。	
	担当講師	山中 高光 教授	
	専門分野	マクロ経済学、開発経済学	

講義番号	タイトル	ヒット商品から学ぶ経営学	【講義】
60	内容	みなさんになじみのある商品を例に、なぜヒットしたのか、その要因を経営学から探っていきます。ヒット商品の多くは、企業の緻密な戦略とそれに基づく企業活動に支えられています。事例をあげて、分かりやすく解説を行います。この講義は、講義形式だけではなく、対象にあわせてグループワークの対応も可能です。	
	担当講師	徳田 美智 准教授	
	専門分野	経営・経済学	

講義番号	タイトル	ネットサービス利用における消費者のリスク	【講義】
61	内容	インターネットやスマートフォンを活用した新しいサービスの登場によって、私たちの生活はより便利になる一方、これまでのなかったリスクも生じてきています。現状を解説し、対策について一緒に考えます。	
	担当講師	田原 静 准教授	
	専門分野	経営・経済学	

<危機管理学科>

講義 番号	タイトル	観光と危機管理 -被災地の取り組みを事例として-	【講義】
62	内容	東日本大震災や九州熊本地震など、近年の自然災害と復興は日本全体の問題として大きく取り上げられています。とりわけ、その地域に生活する人々の暮らしや観光被害は大きく報道され関心を集めます。これは、観光が地域にもたらす影響が大きく地域経済に与える効果が大きいからであるといえます。この講座では、被災地を事例として、観光関係者や地域の人々の取り組みを取り上げて、復興への道のりと問題点を考えます。	
	担当講師	芦田 雅子 講師	
	専門分野	観光危機管理	
講義 番号	タイトル	地域を支える地方銀行の役割	【講義】
63	内容	サイフに入っているお札や硬貨などの現金は、お金の総量の数%でしかありません。では現金以外のお金はどこにあるのでしょうか？実は、そのほとんどが銀行預金です。アルバイト代など給料は会社から貴方の銀行口座へと、お金は口座間を移動していきます。「金融は経済の血液」と呼ばれますが、地方銀行は地域経済の血液(お金)を銀行口座から口座へめぐらせる心臓のような働きをしています。地域経済と地方銀行のこのような密接な関係を紹介します。	
	担当講師	高橋 良平 講師	
	専門分野	地域経済、地域金融	

<経営情報学科>

講義番号	タイトル	コミュニケーション実践入門	【講義】
64	内容	<p>日本経済団体連合会が発表した調査結果(2018年)によれば、企業が「採用選考時に重視する要素」の第1位は16年連続でコミュニケーション能力でした。もちろん大学受験などの面接でも重要であることはいうまでもありません。講義では、次の内容でコミュニケーション能力を高めるための方法について、ペアワークなどにより実践的に学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの重要性 2. コミュニケーションの実際(ペアワーク) 3. コミュニケーション能力を高める 	
	担当講師	小山 悦司 教授	
	専門分野	教育学	
講義番号	タイトル	生涯学習時代における公共図書館の役割と課題	【講義】
65	内容	<p>現代は誰もがいつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の時代です。しかもインターネットやスマホが普及し、いつでも自由に情報を手に入れる便利な時代です。その中で公共図書館も皆さんがより利用しやすいように進化してきています。しかし、その進化の過程で様々な問題も生じています。次の問題を取りあげて公共図書館の持つ役割はなんであるのか一緒に考えていきましょう。</p> <p>・ちびくろサンボ問題、・ツタヤ図書館問題、・公共図書館複本制度と著作権問題</p>	
	担当講師	赤木 恒雄 教授	
	専門分野	生涯学習	
講義番号	タイトル	正しく考える	【講義】
66	内容	<p>現代は情報時代で、スマホがあればあらゆることを「知る」ことができます。そして受験勉強でも分かるように、考えるプロセスよりも結果としての知識が求められるのが現状です。このように「知る」ことばかりに追われて、「考える」ヒマがないといえます。とはいえ「考える」ことは人間にとって不可欠です。ここでは正しく考えるための論理的思考法を学びます。</p>	
	担当講師	西川 高史 教授	
	専門分野	哲学	
講義番号	タイトル	ユダヤ系アメリカ文学とは	【講義】
67	内容	<p>アメリカナイズされた日本のスーパーでは、シーズンごとにクリスマスやイースター関連のお菓子や商品があふれます。では、アメリカ人はみんなクリスマスやイースターを祝うのでしょうか？移民の国として、多種多様な人たちからなるアメリカで、大きな位置を占めるユダヤ系作家の作品を中心に紹介します。日頃勉強している英語をツールとして利用し、アメリカ人の作家が書いた小説を読んでみましょう。</p>	
	担当講師	江原 雅江 教授	
	専門分野	英米文学	
講義番号	タイトル	学生時代の過ごし方とキャリア形成	【講義】
68	内容	<p>社会人基礎力を培うキャリア形成科目を担当し、就職支援の仕事をしています。大学生に学生時代の過ごし方についてアドバイスをすることがあります。インターンシップや就職は、自己分析・企業分析をして、一枚の履歴書やエントリーシートに自己PRや志望理由などを書くことから始まります。参加型でキャリア形成の一助につながる講義を考えています。</p>	
	担当講師	黒田 明雄 講師	
	専門分野	教育学	